

## 抗 議 文

原子力空母ジョージ・ワシントンの横須賀入港に抗議し、原子力空母の横須賀母港撤回を強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 スコット・スウィフト中将 殿  
在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 殿  
米海軍横須賀基地司令官 デービット・オーエン大佐 殿

2013年6月25日

原水爆禁止神奈川県協議会  
神奈川県労働組合総連合  
新日本婦人の会神奈川県本部  
神奈川県商工団体連合会  
神奈川県平和委員会  
安保廃棄神奈川県統一促進会議  
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

6月25日午前7時52分、米原子力空母ジョージ・ワシントン(GW)が横須賀基地に入港した。原子力艦船の入港は今年6回目で、通算872回となった。

今回の横須賀基地に入港した原子力空母GWは、昨年11月20日に横須賀港に入港し、今年5月23日、約束違反・違法な「定期修理」、放射性廃棄物の「搬出」を強行した。そして、その間原子力空母GWは様々な「故障」「不具合」などが生じ6ヶ月間もの長期にわたり横須賀基地に滞在した。6月21日に横須賀基地を出港し、わずか4日間での今回の入港である。このような原子力空母の頻繁な入出港は、原子力空母の事故にもつながるものである。そして、そのたびにおこなわれる空母艦載機の飛行訓練による爆音被害は県民の生活と安全を脅かしている。

首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっている今日、巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍はこれに答えず、詳細な情報の開示を拒否する態度をとっている。多くの県民は、改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く求めている。

以上の立場から、本日の原子力空母GWの横須賀に入港に強く抗議する。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本に、戦争のための軍艦が、入出港・滞在中実質的な母港としている。横須賀は原子力艦船の母港でない。このような日本国憲法を踏みにじり、アジアの平和と安全を脅かす行動にも強く抗議する。

原子力空母の横須賀入港、横須賀母港化はただちにやめることを、重ねて要求する。

以 上